【大島農機㈱：MR-αシリーズ】のとも洗い手順書

（１）　取扱説明書に記載された通常の清掃を行い、①籾投入口（ホッパ）など外部に付着した異物、②機械内部の残留物を取り除いて下さい。

（２）　以下の①～⑧の手順に従って、籾を投入し、３分間の循環運転を行った後、玄米を排出して下さい。

① 当年産の籾を 50kg 用意します。

② 籾摺機の仕上米排出口に、とも洗いに使用して排出する玄米を廃棄するための紙袋をセットします。

● 廃棄用の紙袋を仕上米排出口にセットした様子

③ 籾をホッパに入れます。このとき、ホッパは 20～30kg ぐらいで満杯になるので、こぼれないように注意して入れて下さい。

● 籾を 30 kg程度投入した様子

④ 通常の籾摺り作業と同様に、電源を入れて下さい。

⑤ ホッパのシャッターを開けます。

その際、仕上米レバーを「循環」の位置に合わせてから、操作レバーを「脱プ選別」にして、ホッパのシャッターを開けて下さい。

● 仕上米レバー

● 操作レバー（シャッター開閉）

⑥ ホッパの籾がなくなりそうになったら、残りの籾をホッパに足し入れ、揺動板を確認しながら**玄米が均等に広がるまで籾を投入**します。

合計約 50 kg程度の籾を投入しますが、機械が小さい場合は 10kg 程度余ります。

● 摺米タンクの様子

● 揺動板に玄米が均等に広がっている様子

⑦ **３分間、循環運転**を行って下さい。

⑧ ３分間の循環運転の後、仕上米レバーを「排出」に切り換え、籾摺機内の玄米を全量排出して下さい。

なお、このとき玄米は、廃棄用の紙袋に排出し、選別・計量機に絶対投入しないで下さい。

● 仕上米レバー

（３）「とも洗い」終了後に、再度各昇降機やスロワ、コンベア軸下などの残留物を取り除いて下さい。

なお、残留物の除去は、電源を切り、電源コネクタを外してから行って下さい。

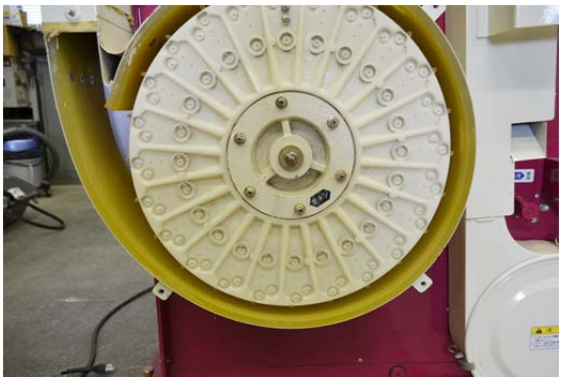
● 電源コネクタ

● コンベア軸の残留物

● すり米昇降機下部の残留物

● スロワの残留物

● 脱ぷファン部の残留物



● 仕上米昇降機下部の残留物

【お問い合わせ先】
大島農機 株式会社
営業部営業推進課
TEL:025-522-5012 ／ FAX:025-522-5023
E-mail ： oshima10@viola.ocn.ne.jp